

信州大学医学部附属病院 形成外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年11月6日

**「早期口唇裂手術の術後瘢痕は目立たないか」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4211
研究課題名	早期口唇裂手術の術後瘢痕は目立たないか
所属(診療科等)	形成外科
研究責任者(職名)	杠 俊介(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年9月1日
研究の意義、目的	早期口唇裂手術の時期による、術後の綺麗さに違いがあるかを明らかにすることを目的とした研究で、今後の手術時期の決定に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1998年1月から2018年10月の間に信州大学医学部附属病院(当院)にて片側性口唇裂について手術をした症例のうち、体重が4000g前後(3500g以上4500g未満)の早い時期に手術をした症例と、6か月以降の遅い時期に手術をした症例のうち、術後2年以上経過(7歳まで)した鮮明な正面顔写真がある症例
利用する診療記録／検体	性別、体重、手術時期、術後経過の写真、口唇裂の裂型(完全型唇裂か不完全型か)
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、写真を検討して見た目に差が出るか研究します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 倉島侑希(形成外科) 電話:0263-37-2833 形成外科医局

**【診療記録、術後写真】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。